

**製品名: ガンマチューブリンウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe03007**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, IP
反応性	ヒト、マウス、ラット、ハムスター
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.53mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 51 kDa; Observed MW: 51 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TUBG1
別名	TUBG1; TUBG; Tubulin gamma-1 chain; Gamma-1-tubulin; Gamma-tubulin complex component 1; GCP-1
遺伝子 ID	7283
SwissProt ID	P23258
免疫原	ヒトγチューブリンの合成ペプチド

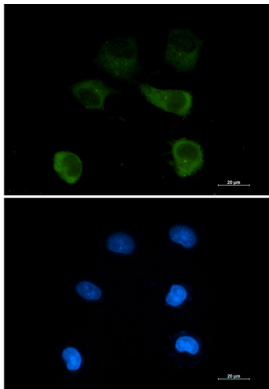
**背景**

TUBG1 チューブリンは微小管の主成分です。γ チューブリンは、紡錘体極や中心体などの微小管形成中心 (MTOC) に存在します。α/β チューブリンのマイナス端核形成、中心体複製、そして紡錘体形成を制御する中心体周囲マトリックスの構成要素です。GCP2 および GCP3 と相互作用します。B9D2 と相互作用します。CDK5RAP2 と相互作用します。

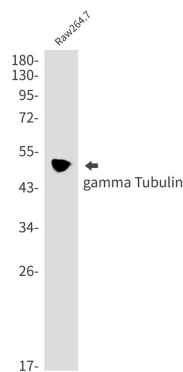
## 研究分野

シグナル伝達

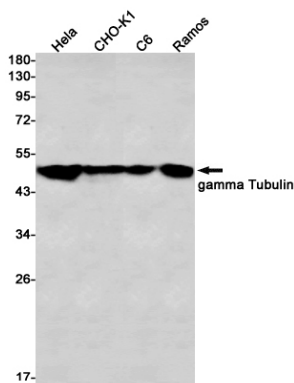
## 画像データ



ガンマ チューブリン抗体と DAPI (青) を使用した HEPG2 のガンマ チューブリン (緑) の免疫細胞化学分析。



ガンマ チューブリン抗体を使用した Raw264.7 溶解物中のガンマ チューブリンのウェスタン プロット分析。



ガンマチューブリン抗体を用いた HeLa、CHO-K1、C6、Ramos ライセート中のガンマ チューブリンのウェスタンプロット分析